

問題 読み手を説得できるために、集めた情報の客観性・信頼性を高めるには？

この単元と関連した領域の付いている力（◆）

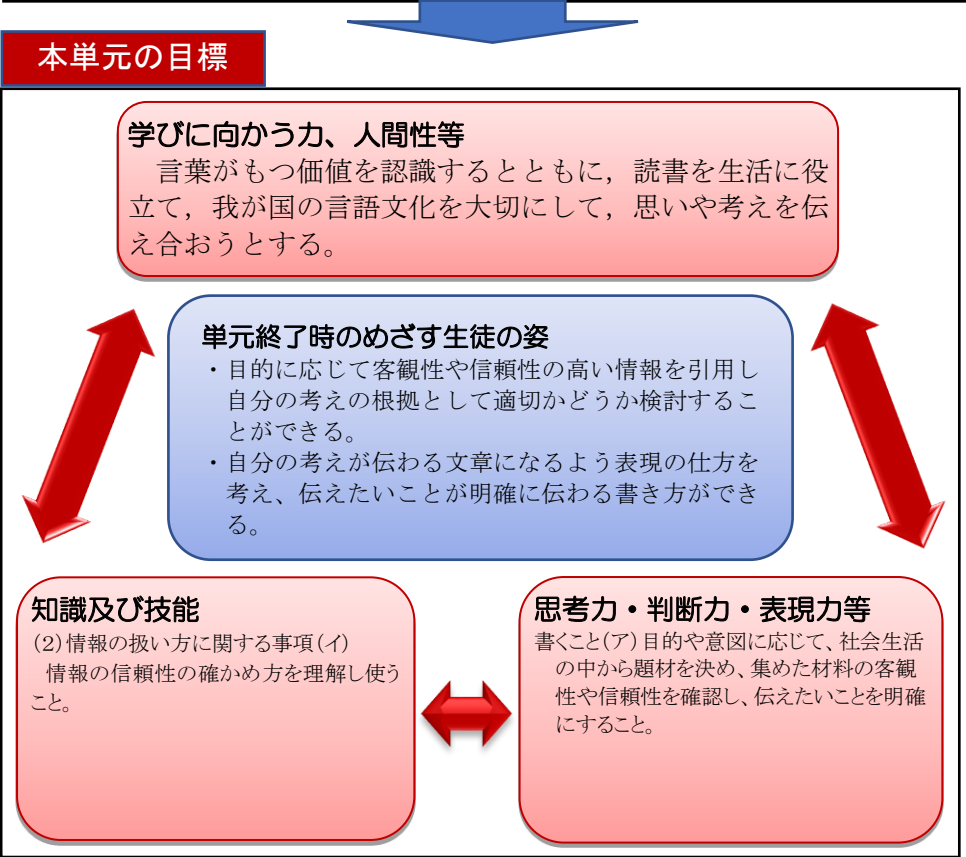
◆書くこと（ア）
目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。
(小学校第5学年及び第6学年)

↓

目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。(中学校第1学年)

↓

目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。(中学校第2学年)



この単元からつながっている領域の力（◆）

◆高等学校 書くこと（現代国語）
目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。（ア）

他教科との関連
【音楽】第2学年及び第3学年（2）B 鑑賞 ア（イ）生活や社会における音楽の意味や役割

言語活動 「生活や社会における音楽の意味や役割について批評する文章を書く」

基本の学習過程

第1次 書くこと
【題材の設定・情報の収集・内容の検討】
(1) 自分たちの生活や社会に音楽が深く結びついていることから、音楽が人々に与える影響や意味・役割について考え、音楽のよさや美しさについて批評文を書くことについて知り、書くことのサイクルを確認する。
・教科書の批評文の例を参考にし、批評文の対象テーマについて調べる。
・音楽（歌）を批評する観点について知る。（※音楽科と連携）
(2) 目的に応じて、収集した情報を基に、批評文を書く。
(3) 批評文を書く上で疑問に感じたこと・難しかったことなど、個人や全体の課題を明確にして解決策を考え、自分が書いた批評文を修正する。
(生徒の課題として考えられるもの)
・集めた情報が客観性・信頼性の高いものといえるのか。
・客観性・信頼性を確かめるためには、どうすればいいのか。
・集めた情報の中から、自分の主張の根拠となるものをどのよう判断すればいいのか。
【具体例】「信頼性・客観性」の高い批評文を書くためには、1つの情報から判断するのではなく、複数の情報を比べながら確認することが大事だということが分かりました。(振り返り)

第2次 書くこと
【構成の検討・考えの形成・記述】
(4) 論理の展開を考えて、文章の構成を工夫する。
・自分の意見を述べ、それを裏付ける事実を示し、演繹法か帰納法かどちらが自分の主張に説得力を持たせる構成なのか考える。
【具体例】私が書いている批評文をより説得力のあるものにするために、演繹法を選んで書いた。(振り返り)
(5) 表現の仕方を考えたり、資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫する。
・目的や意図に応じて様々な視点から表現の仕方を考え、工夫しているか再考する。

【推敲】
(6) 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整える。
・読み手の立場に立った客観的な視点から文章全体を俯瞰して捉え、文章全体が目的や意図に応じたものとなるよう整えていく。
【共有】
(7) 論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見いだす。
【振り返りの視点】
・取り上げた題材の価値が伝わる批評文になったか。
・相手を意識した文章となっているか。
【具体例】読み手に共感してもらえる批評文を書くためには、意見や根拠をどのような順番で述べるかを考え、展開を工夫することが大事だと思った。最初は、十分に分析せず、見たものを観点にしていたけれど、学習を通して見方を深めることができ、客観的に価値を述べる文章にすることができたと思う。(単元の振り返り)

見方・考え方を働かせる
客観性や信頼性の高い適切な情報を取捨選択し、自分の考えを支える根拠かどうかを確かめる。
相手が納得するような構成の仕方を考える。

評価規準
【思】「書くこと」（ア）目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。（ア）
【思】「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手が納得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。（イ）
【思】「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。

単元末に目指す生徒の言語活動例
社会と歌を関連付けて評価する文章（批評文）を書く
私はMrs. GREEN APPLEの「ケセラセラ」を今、能登半島豪雨の被害に遭っている人たちに届けたい。曲のタイトルである「ケセラセラ」とは、スペイン語の「なるようになるさ」という意味からきている。
私はこの歌詞の「痛み止めを飲んでも 消えない胸のズキズキが 些細な誰かの優しさで ちょっと和らいだりするんだよね」という部分から、人間はどんなに辛いときでも誰かの支えによってがんばれることがあるということを伝えたいというメッセージを込めていると聞き取った。実際に作詞・作曲を担当した大森さんは、この歌についてのインタビューの中で「今は多くの人がギリギリのところまで頑張っている。一步引き下がってしまうと、自分というものがぐずれてしまう。そんなギリギリのところ、なんとか頑張って自分を保っている感覚。それを繊細に表現した。」と答えている。「がんばれ！負けるな！」ではなく、「辛いこともあるよね。でもがんばろう！これを乗り切った先には見えてくるものがあるよ」という気持ちを、パワーいっぱい応援歌ではなく、柔らかなメロディにしたところも、本当に辛い人の気持ちに優しく寄り添ってくれるようなものになっている。
被災者の方達が、それぞれ辛い思いをされていると思うけど、みんなの力を借りながら未来に向けて希望をもてるという点でこの歌に価値があると思う。

生徒の実態と指導観
今年度の全国学力・学習状況調査本校採点の結果、平均正答率52.2%と例年に比べ10ポイント程度低い状況であった。領域別では「1年C読むこと（ウ）目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を要約する」力を問う問題では22.2%と、無解答率が10.2%の結果であった。また、「2年B書くこと（ウ）根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること」の力を問う問題においても31.5%と課題が見られる。このことから、必要な情報に着目することができず、目的に応じて必要な情報が何か判断することや、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することに課題があると考え、本単元の学習活動にそのような場面を設定することとした。
本単元では、3年「書くこと」の（ア）の中の、特に情報の収集と内容の検討に重点を置いて学習に取り組ませたい。価値を伝える批評文の形式で書くことができるように指導したい。

【本時の目標】

自分が集めた情報の客観性・信頼性に着目し、自分の主張と根拠がつながっているかについて考えることができる。

【本時における言葉による見方・考え方】

客観性や信頼性の高い適切な情報を取捨選択し、自分の考えを支える根拠かどうかを確かめる。

振り返り

まとめ

★「情報の客観性・信頼性」を確かめるためには
・情報の発信元、発信時期を確かめる。
・複数の情報を見比べる。
・他の観点から見てみる。

めあて

自分が集めた情報の客観性・信頼性はどのように確認して根拠として挙げればいいのかのだろうか？

例

Q「信頼性・客観性」

問題

生活や社会における音楽の意義や役割とは？

◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て
本単元は、最終ゴールとして、目的に応じて客観性や信頼性の高い情報を引用し自分の考えの根拠として適切かどうか検討することができる。また、自分の考えが伝わる文章になるよう表現の仕方を考え、伝えたいことが明確に伝わる書き方ができる力を付けたいと考えている。そこで、設定した言語活動を通して課題解決するための問題を「生活や社会における音楽の意味や役割について批評する文章を書くには」とした。また、その問題を解決するために、「情報の収集」その際の「客観性とは」「信頼性とは」などに着目させ、多様な読み手に共感してもらえる批評文を書くことを考え、本時のめあてを「自分が集めた情報の客観性・信頼性に着目し、自分の主張と根拠がつながっているかについて考えよう。」とした。
本時で働かせたい見方・考え方は「客観性や信頼性の高い適切な情報を取捨選択し、自分の考えを支える根拠かどうかを確かめること」である。複数の情報を関連付けて説得力のある批評文にするために、前時までで学習したことを使い、自分の書いた文章に客観性はあるか、信頼性はあるのかについて着目させ、より多くの人に共感してもらえる批評文を書く力を身に付けさせたいと考えている。

導入

前時の振り返り・個人のめあての設定（５分）

展開

課題の焦点化と全体のめあての共有、思考を深めさせる活動（３５分程度）

まとめ・振り返り（１０分程度）

T：前の時間にみんなに音楽についての批評文を書いてもらって、難しかったな、分からんなという課題を振り返りに書いてもらいましたね。今日は、そんな課題をどうやって解決していったらいいか考えながら批評文を修正していつてもらいたいと思います。 では、前時の課題から、今日はこんなことに着目してやってみようとか、ここを改善してみようという自分のめあてを作成してロイロで投稿してください。 S：（個人のめあてを作成し投稿） T：S1さんの現時点の（学習過程の）位置とめあてを説明してください。 S1：僕は今、「集める・整理する」の段階です。情報を集めて書いてみたけど、これで本当に歌の価値が述べられているのか分からないので、もう1回情報を整理して、根拠としてどれがいいのかを考えたいと思います。 T：もっと先に進んでいる人はいますか？S2さんは、前回どんな課題をもって、今日はどんなめあてで進めていく予定ですか？ S2：私は「組み立てる」の段階です。「歌詞」と「曲調」で情報を集めて書いてみたけど、友達の書いた批評文を読んできると、他の観点はないかな？と思ったので、そこを考えてみたいと思います。 T：音楽を批評する観点を増やすということなんだね。増やしてみるとどう変わってくるんだろうね。あとで聞かせてね。 では、今日の個人のめあての達成に向けて、個人でもいいし、グループを組んでもかまいません。修正を始めてください。	（個人の活動） T：途中ですが、S3さんのグループが困っていることがあるらしいので、少しみんなにも考えてもらいます。S3さんグループの困り感を聞きたいと思います。 S3：僕はインターネットの情報から根拠になりそうなものを探して書いてみたけど、それが「信頼性・客観性」の高いものかどうかをどう判断したらいいかわかりません。 T：S3さんの書いたものをみんなも読んでみってくれる？（共有、読む）S3さんはこれでは「信頼性・客観性」が高いとはいえないのではないかって感じているということだね。それは自分ではどうしてだと分析しているの？他の人はどうですか？他にも似たような意見の人がいるんじゃないかな？では、どうやって解決したらいいんだろう？今日の全体のめあてになりそうだね。 ※もしくは、教師が作成した批評文例から課題について考える。 【めあて】 自分が集めた情報の客観性・信頼性はどのように確認して根拠として挙げればいいのかのだろうか？	T：ではこれについてロイロに自分の考えを書いて提出してください。 S：出典元を確かめる。 S：1つの見方ではなくて観点を増やすことで説得力をもたせる。 S：1人の人の考えだけではなく、違う見方をしている人の意見とも比べた上で、判断する。 T：では、他の人の意見も参考にしながら、ポイントを整理したいと思います。（可視化） T：では、今全体で確認した「情報の客観性・信頼性」についても、自分の批評文を見返し、文章を修正していきましょう。（直接アドバイスをもらいたいことがあれば、離席もOK）	T：では、昨日までに書いたものと、今日新たに追記・修正をおこなった批評文を比べ、どのようなことに気付いたのかまとめを書いてください。S2さん、S5さんまとめを発表してください。 S2：私は「リズム」の視点で批評していたけど、「強弱」という視点にも着目してみると、全体的にピアノの音量を弱めていることが、逆に歌い手の声を引き立たせて、それが頑張っている人たちへの応援歌として受け入れられるのではないかと思いました。一つの視点でみると「主観」が強くなるけど、いくつかの視点でみると客観性が高くなったと思いました。 （観点を増やして考えることをめあてにしていた生徒のまとめ） S7：僕はS3さんと同じで「客観性・信頼性」というところが難しいなと思っていました。最初は作詞家の言っていることしか入れてなかったけど、ネットニュースの情報から被災者が音楽を聴いて気持ちの変化があったことを探せたことで、この曲をどういう思いで書いたのか、それが聴き手にどう伝わったのか、歌の価値の信頼性が高まったと思います。 T：今日は情報の客観性・信頼性について、考えてきました。今日の授業の中で、大切なと思ったこと、友達との交流から新たに学んだことを振り返りに書いてください。
<指導上の留意点> 批評文とは何かを確認し、明確にしておく。	<指導上の留意点> 客観性・信頼性についてのイメージをしっかりと持たせる。	<指導上の留意点> 文章を見直す観点がずれないように、意識させて見直させる。	<指導上の留意点> 相手に共感してもらったり、納得してもらったりするためには、根拠に事実（客観性・信頼性）が大事なことを押さえさせる。
規 評 準 価	【思・判・表】「書くこと」において、情報の客観性・信頼性について理解し、自分が伝えたいことを明確にすることができる。		